

12 丹波市有機の里づくり推進協議会（兵庫県丹波市）

協議会の構成員

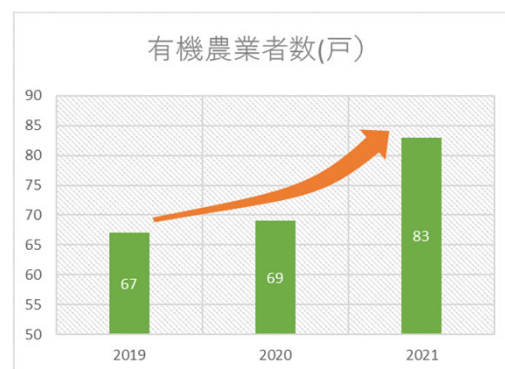
丹波市有機農業研究会、丹波ひかみ農業協同組合、丹波市
【アドバイザー】日本有機農業普及協会

生産概要（2021年3月）

- 取組面積
有機農業取組面積：156ha
うち有機JAS取得面積：60ha
- 有機農業者数：83名
- 栽培品目：水稻、黒豆、小豆等
- 有機農産物の生産量：530トン
- 構成員の主な取引先：大手米穀商社 米穀店
豆類加工業者 生協 飲食店 和菓子店 小売店等

成果（2020年→2021年）

- ・ 有機農業者数の増加：69戸 → 83戸
- ・ 有機農業面積の拡大：154ha → 156ha
- ・ 有機農産物の販売額：1億9100万円 → 2億0400万円



取組のポイント（取組期間：2020年～）

■ 様々なレベルの栽培勉強会 自主勉強会の実施

有機農産物の普及において、高品質でかつ高栄養価の有機野菜づくりにつとめて、流通においてお客さまから指名いただけるような栽培を目指しています。地域内の栽培技術レベルも向上してきた。より高いレベルの栽培勉強会を実施するとともに、市内にできた農の学校の卒業生や新規就農者向けの初・中級者向けの栽培勉強会も自主的に実施。地域内の栽培技術レベルの向上が図れるとともに、大型農家と新規就農希望者との交流から、農業者雇用につながる事例もみられ、地域の生産体制向上にも寄与している。

■ 流通・販売の拡大に向けた取組

高品質で栄養価の高い農作物を求める実需者のニーズを把握するため、3月におこなわれた**フーデックス**に出展し、**新規顧客獲得**につなげた。



一言アピール！

さらに地域内に有機農家が増えるよう
がんばって取り組んでいきます！！

問い合わせ先
丹波市有機の里づくり推進協議会
丹波市産業経済部農業振興課
0795-88-5028

近畿農政局生産部生産技術環境課
075-414-9722

13 那賀地方有機農業推進協議会（和歌山県紀の川市・岩出市）

協議会の構成員

（株）ビオランド紀ノ川、農業生産法人バイオ・ランド、紀州やさい、紀州農レンジャー、紀の川市環境保全型農業グループ、和歌山有機認証協議会、和歌山県有機農業生産者懇話会、紀ノ川農業協同組合、紀の里農業協同組合、紀の川市、岩出市、和歌山県那賀振興局農業水産振興課

生産概要（2021年3月）

■取組面積

有機農業取組面積：19.37ha

うち有機JAS取得面積：16.01ha

■有機農業者数：32名

■栽培品目：タマネギ、水稻、キウイ等

■有機農産物の生産量：557トン

■構成員の主な取引先：10箇所

成果（2015年→2020年）

- ・有機農業実践者の増加：
26名（2015年）→32名（2020年）
- ・有機農業面積の拡大：
13ha（2015年）→19.37ha（2020年）
- ・有機農産物(JAS) の生産量：
265t（2015年）→503t（2020年）

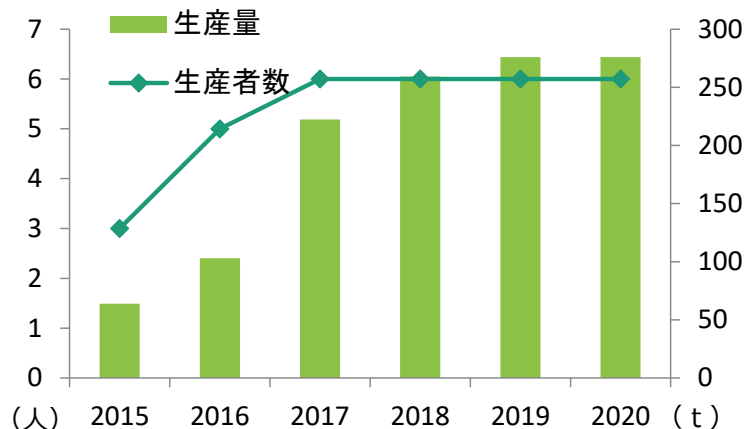


図 タマネギ[有機JAS]生産の推移

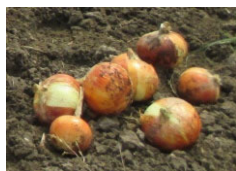
取組のポイント（取組期間：2020年～）

■有機農業への参入者の増加に向けた取組

- ・新規参入者への技術習得として、玉ねぎの栽培研修会を年に5回実施したところ、延べ10名の参加があり、新規参入者だけでなく、従来からの有機農業実践者の意欲の向上につなげることができた。

■有機農産物等の利用拡大の取組

- ・学校給食等において有機農産物の利用拡大に係る市、農協、紀の川市環境保全型農業グループとの連携活動に向けた協議、並びに需要側及び供給側の実態把握を行った。



一言アピール！

農業を通じてみんなを元気に、環境と人に優しい農業に取り組んでいます。この機会にぜひ一度手に取ってみて下さい！

問い合わせ先
那賀地方有機農業推進協議会
0736-61-0025（県那賀振興局・直通）

近畿農政局生産部生産技術環境課
075-414-9722

14 大阪オーガニック・エコ農業推進協議会（大阪府枚方市等）

協議会の構成員

大阪府枚方市、岸和田市、能勢町農業者（10名）、府内農産物流通事業者（2名）、枚方市農業振興課ほか

生産概要（令和2年度末）

- 取組み面積
有機農業取組面積：14.9ha
うち有機JAS取得面積：10.2ha
- 栽培品目：トマト、ニンジン、キャベツ、水稻等
- 有機農業者数：8名
- 構成品の主な取引先：3か所
(株)大阪愛農食品センター、(株)ビオ・マーケット、(株)坂ノ途中等

成果（令和2年度）

（令和元年度⇒令和5年度見込）

- ・ 有機農業者数の増加：8名（令和元年度）⇒11名（令和5年度見込）
- ・ 有機JAS認証取得者数の増加：4名（令和元年度）⇒7名（令和5年度見込）
- ・ 有機農業取組面積の拡大：14.9ha（令和元年度）⇒19.5ha（令和5年度見込）※30%増

取組のポイント（令和2年度）

令和2年度は、有機農業と有機農産物の普及促進の為、科学的な有機栽培技術として知られる「BLOF理論」の栽培技術研修会や、実証試験圃場での研修会等の各種取組みを計画していたが、2020年2月以降の新型コロナウイルス感染拡大と感染症拡大防止の為の緊急事態宣言の影響を受け、事業内容を大幅に縮小することを余儀なくされたが、そのような難しい状況下でも、オンラインの研修会開催など新しい取組みにも取り組んだ。令和2年度に実施した研修会は下記の通り。

■ 有機農業者、新規有機農業者の育成支援、有機農業技術の普及に関する事業

- ・ 有機農業技術研修（田中誠講師）2020年7月11日（土）枚方市民会館にて
- ・ 有機農業技術研修②（田中誠講師）2020年8月27日（木）オンライン開催
- ・ 有機農業技術研修③（田中誠講師）2020年9月24日（木）オンライン開催
- ・ 有機水稻の実地・座学研修（小祝政明講師）2020年11月16日（月）枚方市穂谷にて



大阪オーガニック・エコ農業推進協議会では、大阪府内の有機農業関係者と連携して、有機農業の普及拡大に繋がる取組みを、引き続き実施して参ります。ぜひご参加下さい！

問い合わせ先
大阪オーガニック・エコ農業推進協議会
（事務局）080-5342-9720

近畿農政局生産部生産技術環境課
075-414-9722

15 茨木オーガニック農業推進協議会（大阪府茨木市）

協議会の構成員

茨木市農業委員会、茨木市農とみどり推進課、生活協同組合コープ自然派おおさか、株式会社コープ有機、NPO自然派食育・きちんときほん、有機農業者（6名）他

生産概要（令和2年度末）

- 取組面積
有機農業取組面積：0.9ha
- 栽培品目：ごま、キャベツ、玉ねぎ等
- 有機農産物の生産量：0.7トン
- 有機農業者数：6名

成果（令和2年度）

（令和2年度）

- ・有機農業取組面積の拡大：0.44ha（令和元年度）→0.99ha（令和2年度）
- ・有機農産物の出荷量：0.7t（令和元年度）→1.2t（令和2年度）

取組のポイント（令和2年度）

■有機栽培等の学習会の開催

- ・BLOF理論に基づいた栽培や有機農業をめざす堆肥づくり、有機農業と消費者の提携のありかた等を学ぶため年4回の学習会を開催した。
- ・BLOF理論においては土壌分析から施肥設計を行うことが有機農業を実践するうえで需要ということを学び構成員の技術知識の向上につながった。

■学校給食への有機ごまの納入

- ・学校給食へ茨木産の有機のごまを納入すると同時に、イバゴマチラシ(茨木のごまの愛称)18700枚・ポスター40枚の作成。ゴマメニューを市内全小学校（32校）で取り組み、全小学生に「イバゴマ」チラシを配布。利用拡大に向けたポスターを茨木市内小学校全校に掲示。地元茨木市で有機農業が実施され、さらに面積を拡大することが安全で良質な給食につながることを啓発しました。



生産者と消費者がちからをあわせ有機農産物の拡がる取り組みを行っています。



問い合わせ先
茨木オーガニック農業推進協議会
（コープ自然派おおさか内）
TEL：072-635-0777

16 小松島市生物多様性農業推進協議会 (徳島県小松島市)

協議会の構成員

生産者、実需者、徳島県、小松島市ほか

生産概要 (2020年度)

■取組面積

有機農業取組面積：39.30 ha
うち有機JAS取得面積：0.96 ha

■有機農業者数：32名

■栽培品目：水稻、小松菜、タケノコ等
■構成員の主な取引先：生協、スーパー、産直市等

成果 (2020年度)

○新規参入農家の育成支援を実施

- ・有機栽培技術講習会を実施 (3回)
- ・日本有機農業普及協会
栄養価コンテストに出品 (3検体)



↑ 栄養価コンテスト
に出品を行った農産物

↓ 講習会の様子



取組のポイント (取組期間：2016年～)

- 有機農業への参入者の増加に向けた取組
 - ・とくしま有機農業サポートセンターと共同した、新規参入者向けの相談窓口の設置。
- 技術の確立・習得に向けた取組
 - ・BLOF理論 (生態系調和型農業理論) の講習会を、H30は5回、R2は3回実施し、生産者の技術向上につなげることができた。
- 消費者の理解増進に向けた取組
 - ・オーガニックエコフェスタ開催による、技術者間交流と消費者へのPR活動を実施。

→ 栽培技術講習会の様子



← オーガニックエコフェスタの様子



一言アピール!

本協議会では、生物多様性の視点を生産環境に取り入れる農業を志向しています。

問い合わせ先
小松島市生物多様性農業推進協議会
0885-34-9292

中国四国農政局生産技術環境課
086-224-4511 (内線2772)

17 さぬきオーガニック（香川県全域）

協議会の構成員

綾川町経済課、（株）マルヨシセンター、（公財）オイスカ四国研修センター、
香川県有機農業者 8 名 他

生産概要（令和 2 年度末）

■取組面積

有機農業取組面積：6.98ha

うち有機JAS取得面積：0.98ha

■有機農業者数：8 名

■栽培品目：野菜全般、水稻

■有機農産物の生産量：9トン

■構成員の主な取引先：5箇所（マルヨシセンター、 コープ、春日水神市場 他）

成果（令和 2 年度）

（令和2年度）

・有機農業者数の増加：5 名（令和元年度）→8 名（令和 2 年度）

（令和元年度→令和6年度見込）

・有機JAS認証取得者数の増加：1名（令和元年度）→5名（令和6年度見込）

取組のポイント（令和 2 年度）

■研修会の開催

- ・有機JAS認定取得のためにJASについての研修会を行い、
今後取得に向けて栽培基準や記録作業について検討する。

■講習会等の開催

- ・栽培実証ほ等を設置し、緑肥を主体とした土づくりを行い、有機農業の専門家からアドバイスをもらって、土壌分析を基に施肥を行った。その後、生育状況を確認しながら、ほ場等で技術講習を実施した。（4回）
- ・土壌についての基礎知識を習得するための講習会を行い、
土壌分析値の見方、土づくりの手法について学んだ。

■地元小売店への販路開拓

- ・地元小売店のニーズを把握するため、アンケート調査を実施した。調査結果から消費者の有機野菜に対する需要を把握することにより作付計画を検討した。また、有機農業の専門家に作付計画を見てもらい、グループで出荷する計画を考察した。



土づくりを大切に行い、年間通して様々な野菜を有機栽培しています。こだわった野菜をご賞味下さい。

問い合わせ先

さぬきオーガニック事務局
ofan3071@yahoo.co.jp

中国四国農政局生産部生産技術環境課
086-224-4511（内線2772）

18 高知オーガニック（高知県高知市、本山町ほか）

協議会の構成員

NPO法人高知県有機農業研究会、株式会社土佐山田ショッピングセンター、株式会社四国シジシー、末広ショッピングセンター、NPO法人オーガニックスタイルこうち、高知かねた青果、株式会社山下農園、りぐるVege、や農園、キセツノオヤサイ葉屋、風と水の大地、ケンタロウファーム、素農人ほか

生産概要（令和2年度末）

- 取組面積
有機農業取組面積：19.49ha
うち有機JAS取得面積：2.32ha
- 栽培品目：ショウガ、トマト、ニンジン、水稻等
- 有機農産物の生産量：121.44トン
- 有機農業者数：14名
- 構成員の主な取引先：スーパー、産直市場、飲食店

成果（令和2年度）

- ・有機農業者数の増加：12名（2019年）→14名（2020年）
- ・有機農業面積の拡大：13.9ha（2019年）→19.49ha（2020年）
- ・有機農産物の販売額：3790万円（2019年）→4860万円（2020年）

取組のポイント（令和2年度）

■栽培技術力・経営力向上に向けた取組

- ・2箇所（稲作・野菜）の実習ほ場を活用した栽培技術の講習会を2回、栽培技術・経営力の向上の講習会4回、ほ場の土づくりのための技術実証を1回開催した。
- これにより新たに有機農業者（構成員）が2名増加した。

栽培技術講習会



■流通・販売の拡大に向けた取組

- ・実需者と生産者の意見交換会を毎月1回、栽培品目等の調整を行い、県内スーパーにおいて実需者等の意向把握・需要量の調査を行った。
- ・「ファベックス関西」に出展し、商談を行った。これにより関西の企業に高知オーガニックを知ってもらうことができた。



高知オーガニックです。私たちの作った“自然の味”をぜひご賞味ください！

問い合わせ先
高知オーガニック
090-8970-7796

〔中国四国農政局生産部生産技術環境課〕
086-224-4511

19 くまもと有機農業推進協議会（熊本県）

販路確保型

協議会の構成員

熊本県有機農業研究会 人吉市有機農業推進協議会 宇城有機農業プロデュース
山都町有機農業協議会「Organic山都」部会 百草園
人吉市 宇城市 山都町 熊本県 JA熊本中央会

生産概要（令和2年度末）

■取組面積

有機農業取組面積： 57.7ha

うち有機JAS取得面積： 45.1ha

■有機農業者数： 30名

■栽培品目： トマト、しょうが等

■構成員の主な取引先：

生協、年間契約事業者、消費者等

成果（令和2年度）

- ・有機JAS認証取得者数の増加： 17名（令和元年度）→ 20名（令和2年度）
- ・有機農業取組面積の拡大： 51.6ha（令和元年度）→ 57.7ha（令和2年度）

取組のポイント（令和2年度）

■分析に基づいた施肥・栽培管理の実践と講習会の開催

- ・土壌分析に基づいたミネラル施肥を行い、栽培管理を実践した。また、ぼかし肥料との栽培比較を行ったが、明確な差は得られなかった。さらに、BLOFセミナーを行い、生産性および技術力の向上へ農業理論の理解を深めた。

■有機農産物等の需要調査

- ・感染症拡大により計画変更したが、県外店舗や卸等を訪問し、消費者へのアピール方法を学ぶとともに、有機農産物に対する要望や動向等の調査、意見交換を行った。

■学校給食への導入に向けた学習会の開催

- ・先進的取組について韓国や今治市などの取組を学ぶとともに、学校給食での有機農産物の導入に向けて意見交換を行った。



新規就農者の技術向上、経営安定、販売体制の強化に力を入れています

問い合わせ先
くまもと有機農業推進協議会
事務局（熊本県有機農業研究会）
096-223-6771

〔九州農政局生産部生産技術環境課〕
096-300-6274

20 宮崎県有機農業連絡協議会（宮崎県）

協議会の構成員

有限会社松井農園、小浦製茶、株式会社かぐらの里、（一社）宮崎県農業法人経営者協会、宮崎県経済農業協同組合連合会、綾町、高鍋町、木城町、宮崎県

生産概要（令和2年度末）

■取組面積 85.9ha
 有機農業取組面積：41.6ha
 うち有機JAS取得面積：44.3ha

■有機農業者数：34名

■栽培品目：野菜、茶、ゆず、とうがらし等
 ■有機農産物の生産量：475トン



成果（令和元年度→令和2年度）

- ・有機農業取組面積の拡大：64.6ha（令和元年度）→85.9ha（令和2年度）
- ・県内全域を対象とした研修会の開催：6回（令和2年度）
- ・有機農業技術事例集の作成：300部（令和元年度）

取組のポイント（令和2年度）

■品目毎の技術研修会の開催

- ・県内有機農業者、有機農業に関心のある農家を対象に、品目・テーマ毎の技術研修会を開催。水稻、施設野菜、露地野菜、茶、果樹の5品目と、有機JAS制度に関する研修会を通年で開催（年6回）。科学的根拠に基づく有機農業技術の理解普及と実践事例を紹介し、有機農業への関心の向上に繋がった。



▲研修会の様子

■有機農業に関するアンケートの実施

- ・有機農業者、非有機農業者に対し、有機農業に対するアンケートを実施し、現在の課題、求められる支援策等について把握。消費者への理解促進・PR必要との声が多く、次年度以降の活動内容に反映させることとなった。



▲現地ほ場での検討会



県内の有機農業者のネットワークの拡大や、有機農業技術の普及・推進を、会員一丸となって進めていきます！

問い合わせ先
 宮崎県有機農業連絡協議会事務局
 0985-26-7134

〔九州農政局生産部生産技術環境課〕
 096-300-6274

21 かごしま有機農業推進協議会（鹿児島県鹿児島市・姶良市・南さつま市）

協議会の構成員

鹿児島市、姶良市、南さつま市、NPO法人鹿児島県有機農業協会、生活協同組合コープかごしま、株式会社エム・オー・エー商事九州販売、姶良有機部会、有限会社かごしま有機生産組合

生産概要（2021年3月）

- 取組面積
有機農業取組面積：100 ha
うち有機JAS取得面積：98 ha
- 有機農業者：73名（当初48名）
- 栽培品目：水稻、玉ねぎ、人参等
- 有機農産物の生産量：920 t
- 構成員の主な取引先：262 箇所（生協、スーパー、小売店等）

成果（2014年→2020年）

- ・有機農業の新規参入者の増加：7名（2020年）
- ・有機農業面積の拡大：43 ha（2014年）→ 100 ha（2020年）
- ・有機農産物の生産量：485 t（2014年）→ 920 t（2020年）
- ・有機農産物の取引先：152 箇所（2014年）→ 262 箇所（2020年）

有機農業面積は、
130%増加。

生産量は、
90%増加。

取組のポイント（取組期間：2014年～）

■栽培技術・経営力向上等に向けた取組

今まで取り組んでいなかった新たな農産物（品目）の生産技術を習得する為、2箇所の実証圃を設置し、技術講習会を開催。また、有機農業フォーラムを2回開催し、生産力、経営力の向上に繋がった。

■安定供給体制構築のための取組

展示会へ出展することで新たな販売先を確保し、安心して生産できる体制を強化した。

また、展示会で使用するPR動画を作成し、展示会での訴求力を高めた。更に学校給食に携わる栄養教諭を集めて意見交換会を開催し、現状の把握を行った。



一言アピール！

圃場での現地検討会などを通して、安定的に生産できるように技術力の向上に努めています。

問い合わせ先：
かごしま有機農業推進協議会
事務局 099-282-6867

〔九州農政局生産部生産技術環境課〕
096-300-6274